



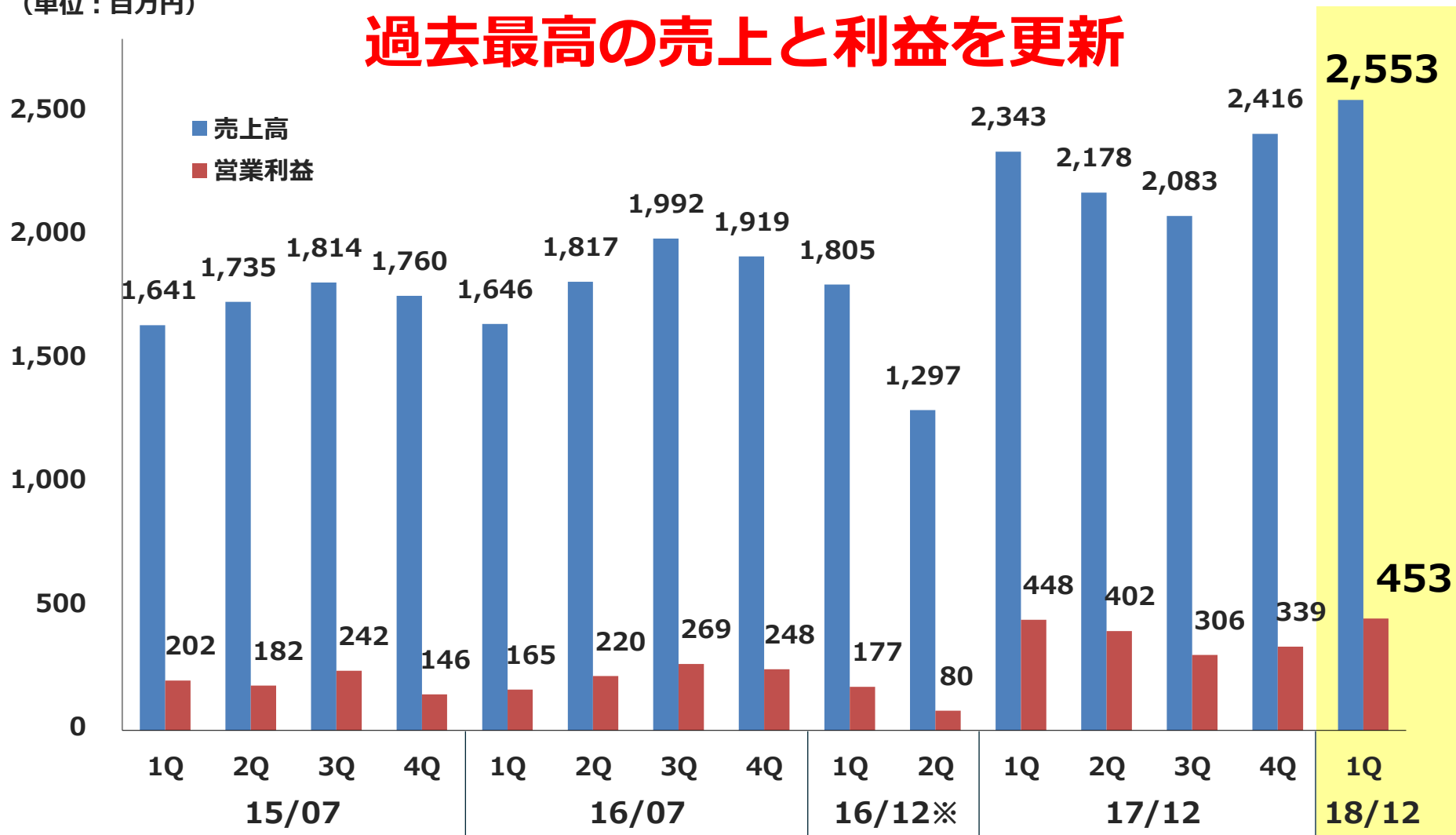
2018年12月期 第1四半期 決算説明資料

**2018年5月8日
シーシーエス株式会社
(JASDAQ 6669)**

連結売上高と営業利益の推移

～四半期ベースで、
過去最高の売上と利益を更新

(単位：百万円)



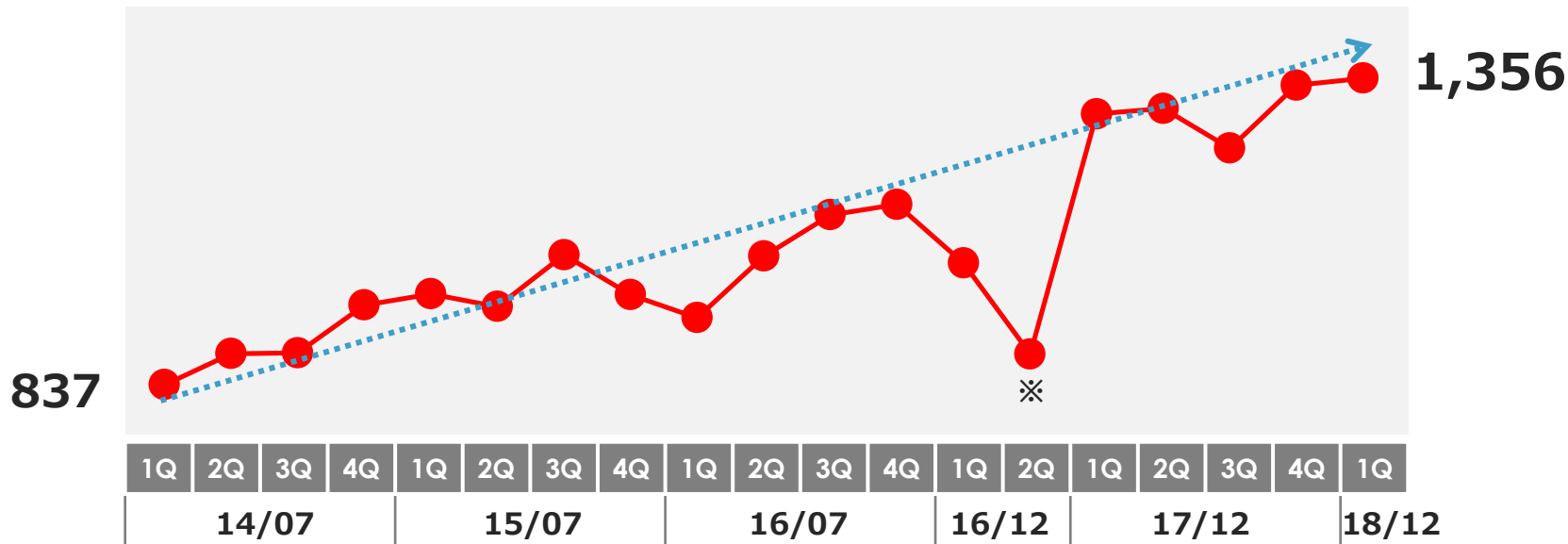
※ 決算期の変更に伴い、2016年12月期は5ヶ月（8月～12月）の変則決算

国内MV事業

売上高 **1,356** 百万円

前年同期比 (1～3月) **6.8%増**

(百万円)



- ・ 自動車関連が好調、電子・電気・半導体業界向けは堅調に推移
- ・ ソリューション提案の強化や前期に増設した実験室で顧客密着営業を強化

※ 2016年12月期は5ヶ月の変則決算ため、2016年12月期第2四半期は2ヶ月間

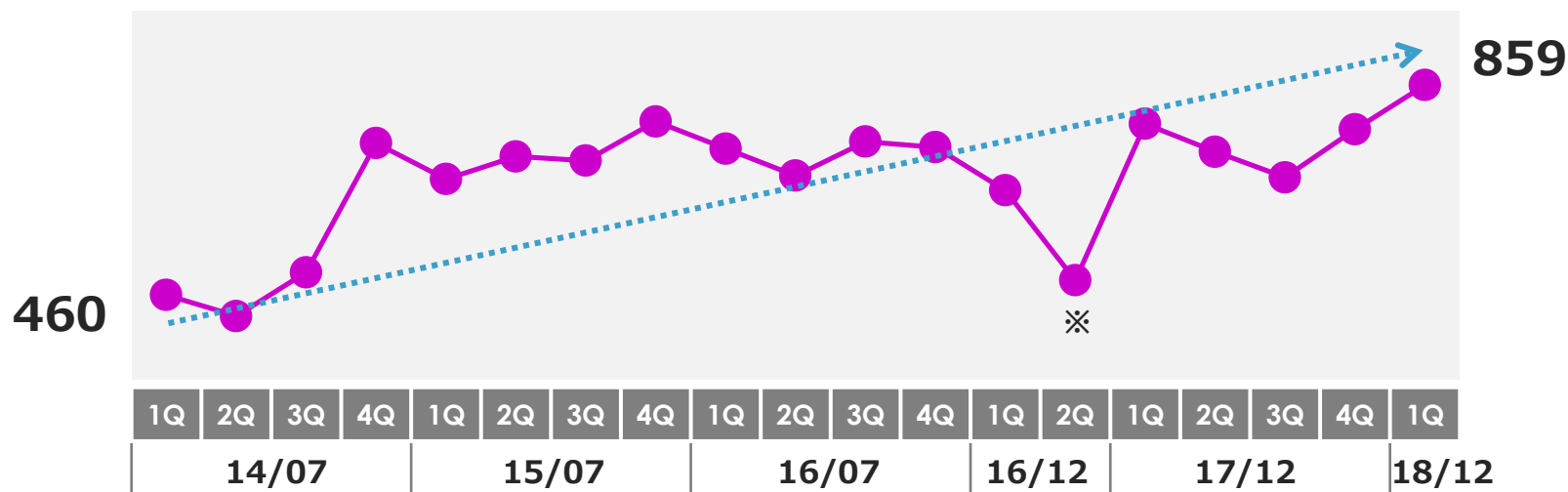
海外MV事業

売上高 **859** 百万円

前年同期比（1～3月） **9.4%増**

（百万円）

（欧州 25.8% , 北米 4.5% , アジア ▲6.9%）



【欧 州】 大手顧客向けの売上が継続

【アジア】 拠点を開設した東南アジアで売上増加、合併解消により中国での売上減少

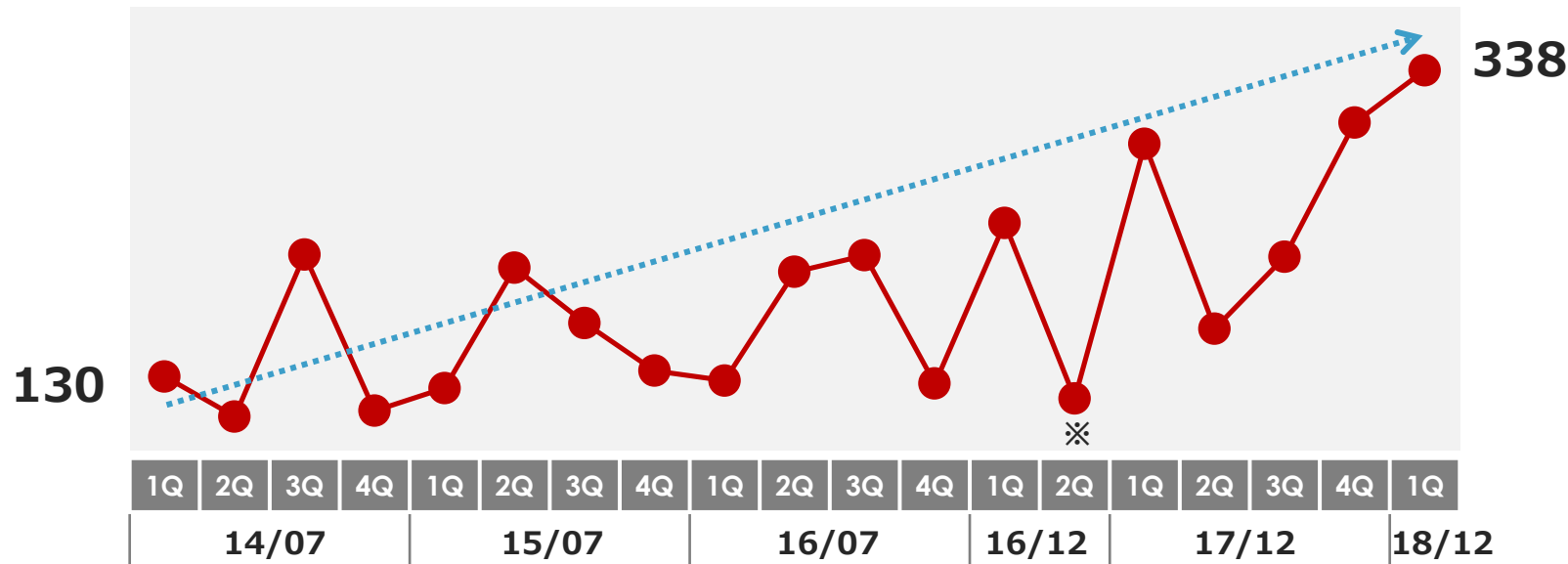
※ 2016年12月期は5ヶ月の変則決算ため、2016年12月期第2四半期は2ヶ月間

新規事業

売上高 **338**百万円

前年同期比 (1～3月) **17.4%増**

(百万円)



- ・ アグリビジネスで大型案件を売上計上、UV（紫外線）照射器ビジネスは好調拡大中
- ・ 市場が急拡大しているUV（紫外線）照射器ビジネスを当社の新たな収益の柱に育成すべく研究開発と人材の拡充に注力

※ 2016年12月期は5ヶ月の変則決算ため、2016年12月期第2四半期は2ヶ月間

連結業績

(単位：百万円)

	2017年12月期 1Q (1～3月)	2018年12月期 1Q (1～3月)	増減額	増減率
売上高	2,343	2,553	+209	+8.9%
売上総利益 売上高比	1,371 58.5%	1,467 57.5%	+95	+7.0%
販管費 売上高比	922 39.4%	1,014 39.7%	+91	+9.9%
営業利益 売上高比	448 19.2%	453 17.7%	+4	+0.9%
経常利益 売上高比	435 18.6%	438 17.2%	+3	+0.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 売上高比	309 13.2%	316 12.4%	+7	+2.3%

売上高の増減要因

(単位：百万円)

2017年12月期
1Q (1～3月) 2018年12月期
1Q (1～3月)

為替 レート	米ドル	113.60円	108.22円
	ユーロ	121.05円	133.14円

【中国での合併解消の影響】
売上高：▲84百万円

国内
MV事業
+85

海外
MV事業
+ 45

新規事業
+50

為替の影響
+ 28

2,553

2,343

(内訳)

北米	+ 19
欧州	+ 46
アジア	▲ 20

(内訳)

北米	▲ 10
欧州	+ 36
アジア	+ 2

2017年12月期
1Q (1～3月)

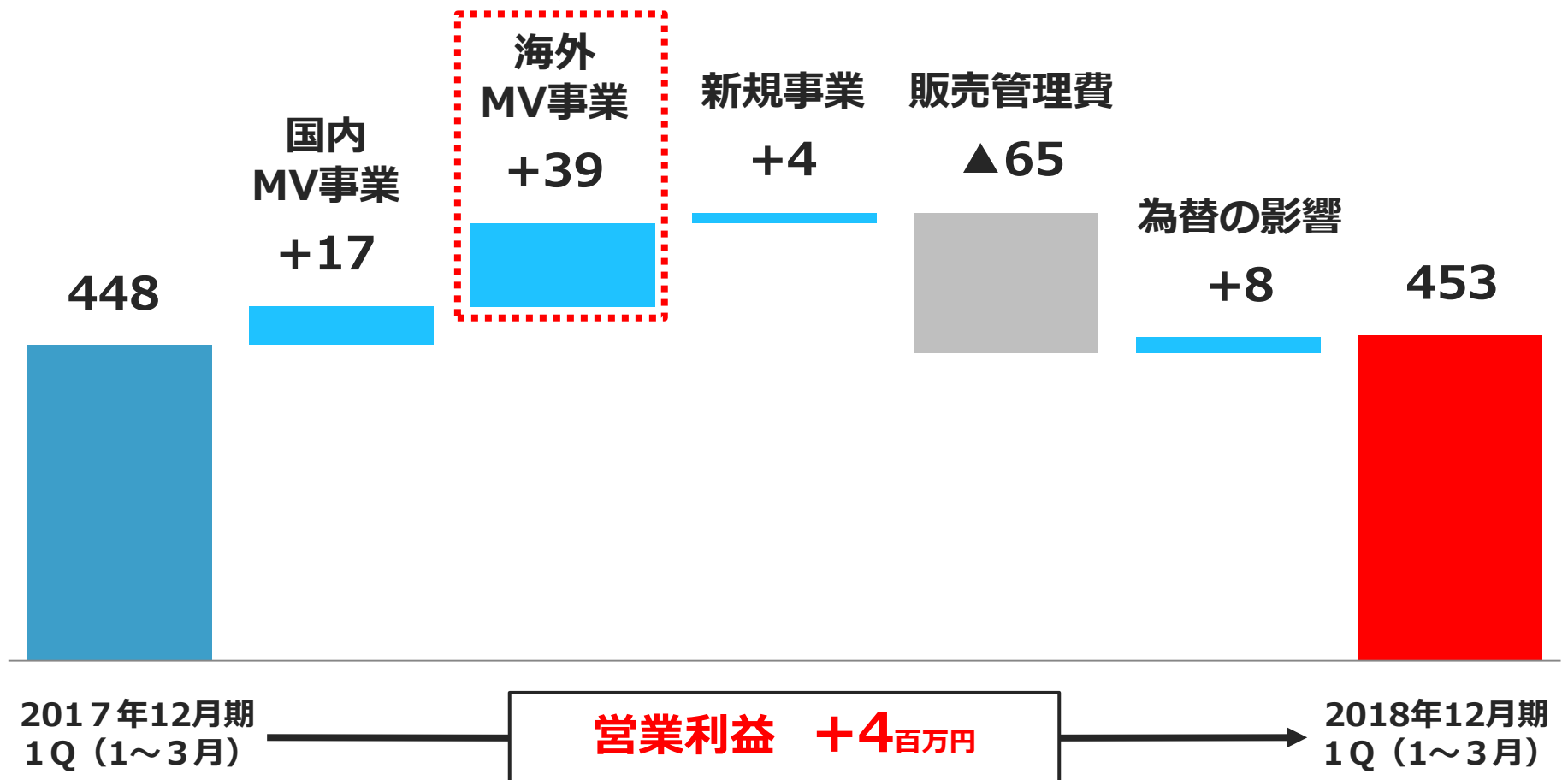
売上高 +209百万円

2018年12月期
1Q (1～3月)

営業利益の増減要因

(単位：百万円)

【中国での合併解消の影響】
売上総利益：▲48百万円



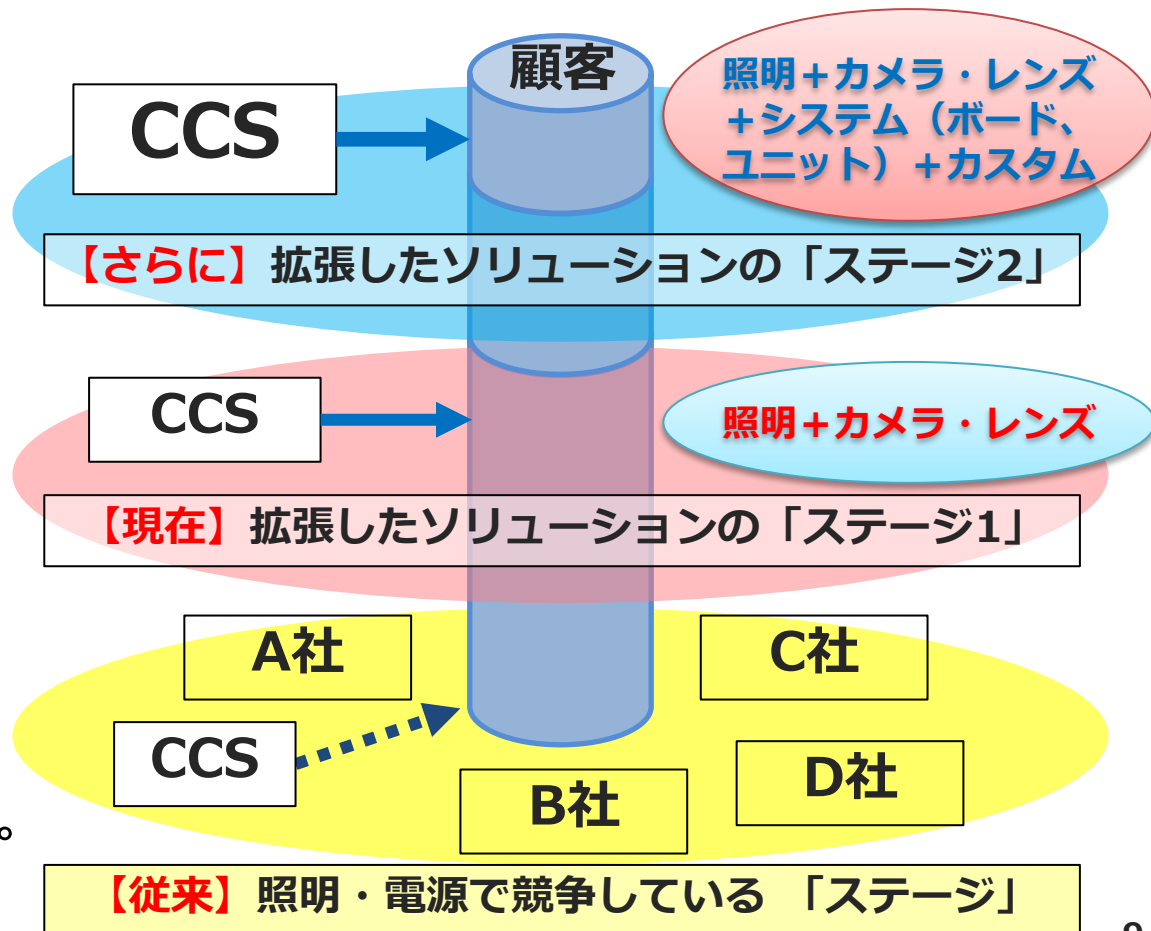
MV事業戦略

お客様は、照明・電源が欲しい訳ではなく

「見える!」 が欲しい

レンズ、カメラ、... etc.と
ソリューションを拡張し、
顧客への提案
「ステージ」を上げ
競合との差別化を推進

CCSは、
SEや技術開発部門など、
他社に無い豊富な人財により
これを実現できる基盤を持つ。



海外での事業戦略

現地売上高とシェアの飛躍的拡大に向け
代理店頼みのビジネスモデルからの脱却

1. 顧客密着型

- ・ 営業体制（人員）の強化、拠点（実験室）の拡充
- ・ エンドユーザーとの関係を構築

2. ソリューション提案

- ・ 現地で特注対応ができる開発体制を構築

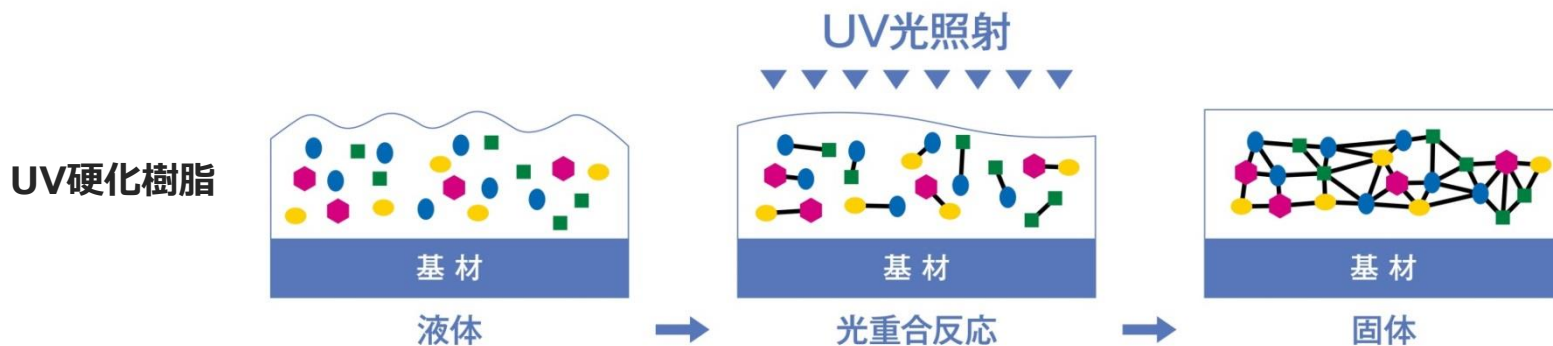
3. マルチブランド戦略

- ・ 現地のローカルブランドを立ち上げ
「CCS」ブランドと複数ブランドを展開

UVビジネス（UV照射器）

■ UV硬化の原理

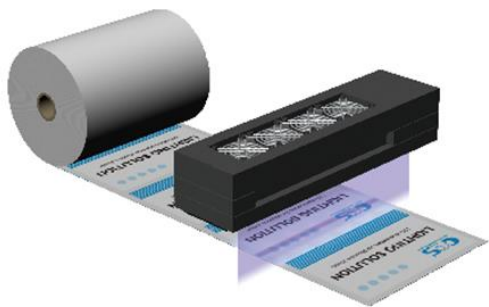
UV（紫外線）エネルギーを利用して、液体から固体に化学変化させる



■ UV照射器（ライン型）の用途

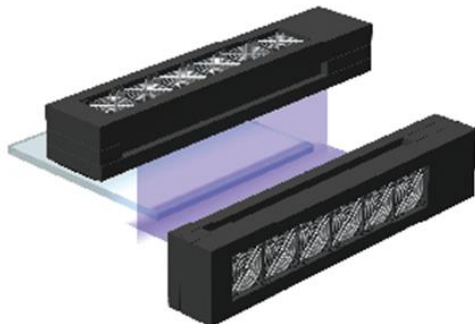
ラベル・シールのインク硬化

■ UVインクの硬化



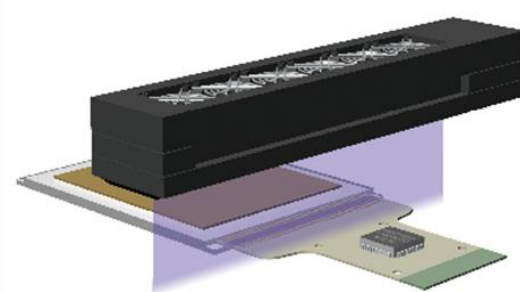
パネルなどの接着・封止

■ パネルの貼り合わせ



電子部品の接着

■ 液晶と基板の接着



UVビジネス ～ 市場規模 ～

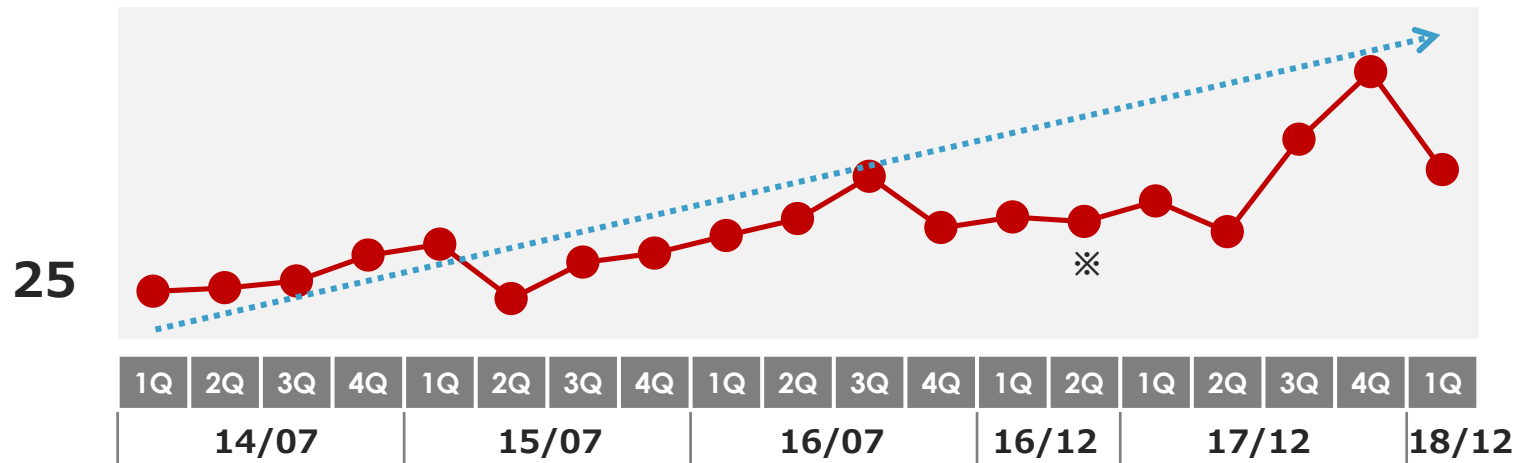
世界のUV-LED市場規模の成長予測

2015年～2020年にかけて**34%の年平均成長率**で推移

2017年 **2億88百万ドル** ⇒ 2020年 **5億26百万ドル**に拡大

(出典) 「LEDinside 2017 : UV LEDおよびUV LEDモジュールの市場調査 (2017年4月30日出版)」

(百万円) CCSの UVビジネスの売上高推移



MV事業と同様に、**お客様の要望の実現に向けて実験を繰り返しながら、製品として完成させていくことが当社の強み・ノウハウとなる**

※ 2016年12月期は5ヶ月の変則決算ため、2016年12月期第2四半期は2ヶ月間

オプテックスグループ（株） との株式交換

株式交換により、オプテックスグループ（株） の100%子会社化



今後のスケジュール（予定）

2018年
6月26日

CCS株式
最終売買日

2018年
6月27日

CCS株式
上場廃止日

2018年
7月1日

株式交換
効力発生日

完全子会社化の背景と目的

■ 事業課題

- ・ 国内・海外で圧倒的なトップシェアを獲得し、市場をリードする
- ・ 新しい技術を積極的に取り入れ、ソリューションの幅を広げる

■ 外部環境

- ・ IoTやAIを活用した製造業の革新
- ・ 有機ELなどのLED以外の照明の技術進化

完全子会社化

- ・ 迅速かつ機動的な意思決定に基づく経営が可能となる
- ・ 今まで以上にオプテックスグループの経営資源を活用できる
 - ⇒ シーシーエス単独では難しい大型のM&Aなどの推進
 - ⇒ 国内外のグループ各社の資源や取引関係の活用が一層加速

補足資料

会社概要

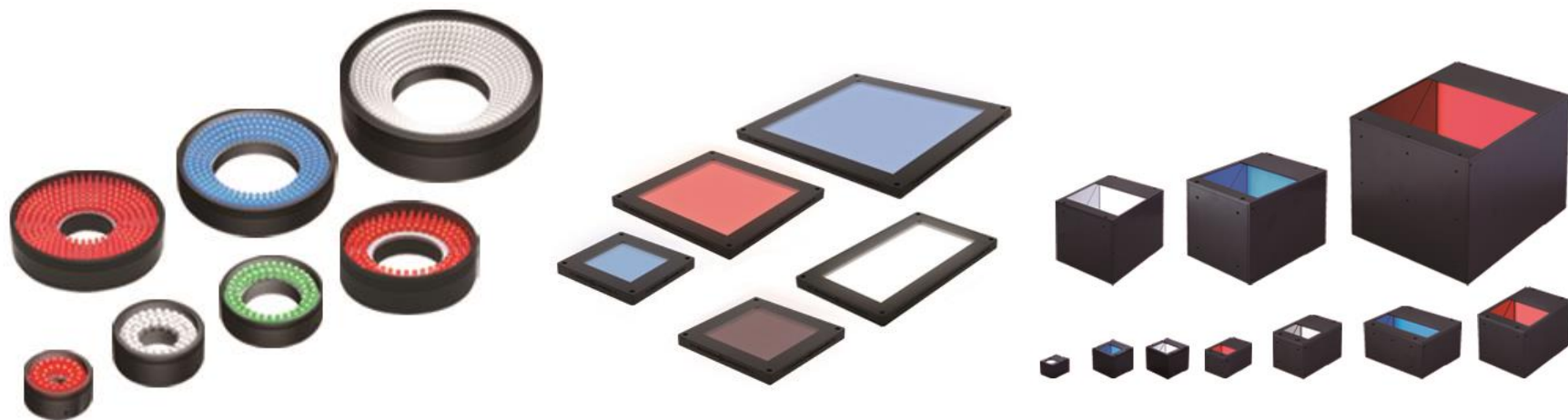
商 号	シーシーエス株式会社
本 社 所 在 地	京都府京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374
設 立	1993年10月
資 本 金	462百万円
代 表 者	代表取締役社長 大西 浩之
従 業 員 数	連結：292名（37名） 単体：246名（29名） 注：（）内は臨時従業員数
事 業 内 容	LED検査用照明及び電源の製造販売、新規事業
発行済株式総数	5,417,829株 （2017年12月31日現在）
株 主 数	1,934名 （2017年12月31日現在）
主な連結子会社	CCS America, Inc. / CCS Asia PTE.LTD. / CCS Europe N.V. 晰写速光学（深圳）有限公司（CCS China Inc.）
拠 点	国内 13ヶ所 京都本社、生産センター、開発センター、光技術研究所、 東京、名古屋、仙台、本厚木、金沢、守山、淀屋橋、博多、熊本 海外 13ヶ所 ボストン、エル・パソ、サンノゼ、ベルギー、 シンガポール、タイ、マレーシア、ペナン、韓国、 上海、深圳、東莞、台湾 （主な連結子会社含む）

※ 2018年3月31日現在

沿革

1993	10月	シーシーエス株式会社設立
1999	9月	CCS America, Inc.を設立
2000	5月	東京営業所を開設
2003	9月	上海駐在員事務所を開設
2004	6月	日本証券業協会に株式を店頭登録
	9月	RDV (S) PTE LTD社（現 CCS Asia PTE.LTD）を子会社化
	11月	CCS Europe NVを設立
	12月	日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所（現 東京証券取引所JASDAQ市場）に上場
2007	7月	生産センターを開設
2008	1月	光技術研究所を開設
	3月	深圳駐在事務所を開設
	8月	名古屋営業所を開設
2010	12月	CCS Asia PTE.LTD. バンコク駐在員事務所を開設
2013	10月	台湾駐在員事務所を開設
2014	1月	東莞鋭視光電科技有限公司（Rsee）を設立
	9月	CCS America, Inc. エル・パソ テキサス テスティングルームを開設 金沢 テスティングルームを開設、 守山 テスティングルームを開設
2015	10月	CCS America, Inc. サンノゼ テスティングルームを開設 本厚木 テスティングルームを開設、 淀屋橋 テスティングルームを開設
		オプテックス株式会社（現 オプテックスグループ株式会社）による公開買付けにより同社の子会社となる
2016	5月	決算期を7月から12月に変更
	8月	
	9月	CCS Asia PTE.LTD. マレーシア駐在員事務所を開設
	11月	韓国 テスティングルームを開設
2017		開発センターを開設
	5月	東莞鋭視光電科技有限公司（Rsee）の当社出資持分を譲渡
	6月	晰写速光学（深圳）有限公司（CCS China Inc.）を設立
	7月	仙台営業所を開設（仙台 テスティングルームの機能と人員を拡充）
	11月	博多テストングルームを開設
	12月	熊本テストングルームを開設
		CCS Asia PTE.LTD. ペナン（マレーシア）テストングルームを開設

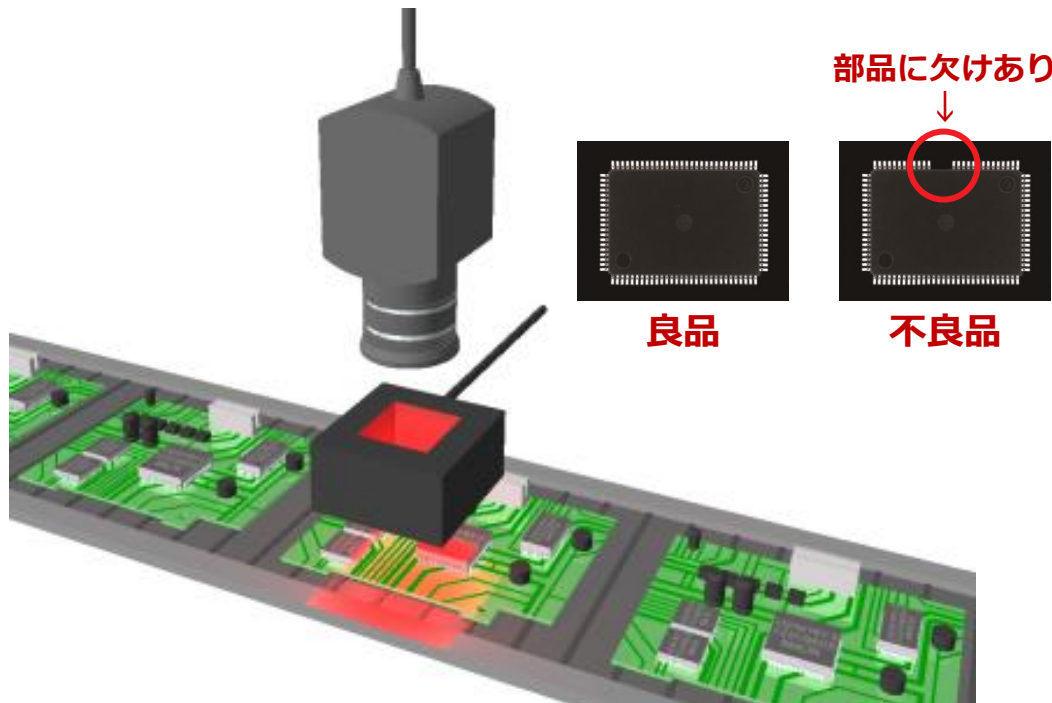
CCS は、
1993年設立で、
LEDを活用した
検査用照明メーカーです。



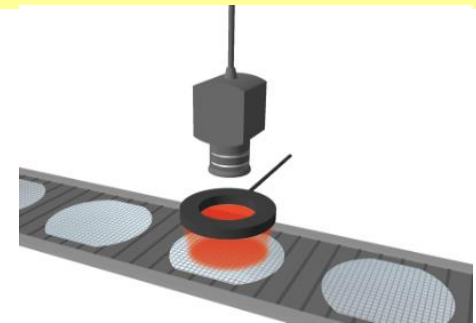
※ 画像処理用の照明として利用されることから、MV（マシンビジョン）照明とも言います。₁₈

検査用照明ってなに？

工場で何かを生産する場合は、各工程ごとに
必ず「検査」のプロセスがあり、検査対象物を
照明（と電源）、レンズ・カメラを使って撮像し、
画像を基に「良品 or 不良品」の判定を行います。



プリント基板の実装部品欠陥検査



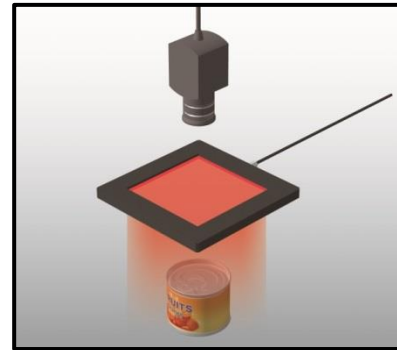
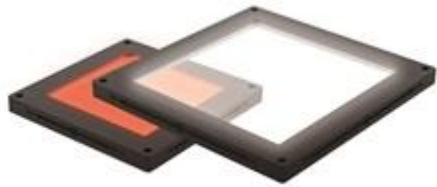
ウェハーのチリ/ホコリ撮像



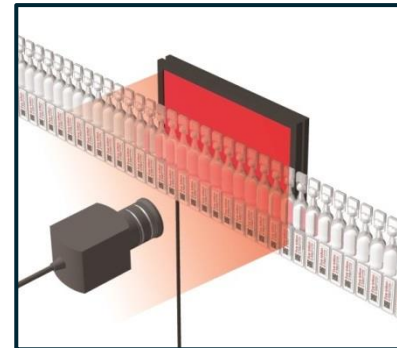
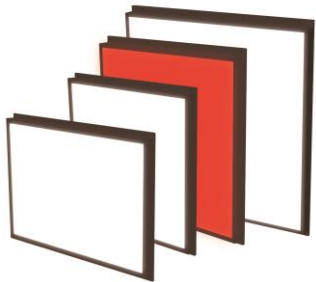
ガラスビンの刻印撮像

撮像事例

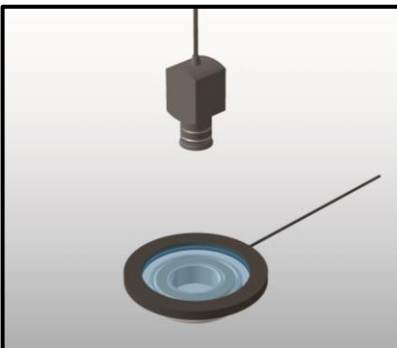
缶詰表面の汚れ撮像



点眼薬の液面撮像



ベアリングの刻印文字撮像



CCSの強み

- ・ 過去から蓄積してきた5万件以上の撮像実績
- ・ 約1万機種のカスタム照明の設計・開発・製作
- ・ 数百種類、1万台以上に及ぶ無料貸出機を配備
- ・ エリア実験室、ラインセンサ用実験室を完備し、
レンズやカメラも含めた**トータルソリューションを提案**



エリア実験室



ラインセンサ用実験室

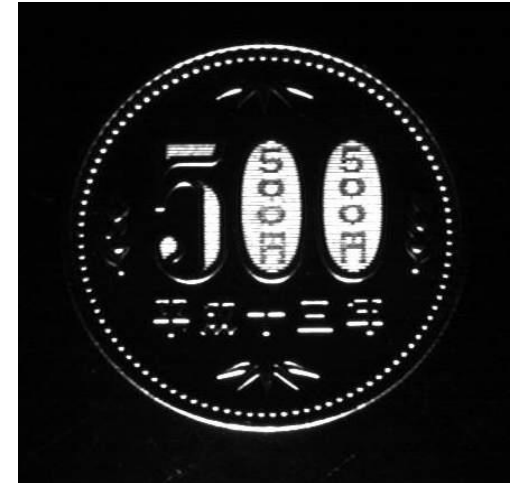
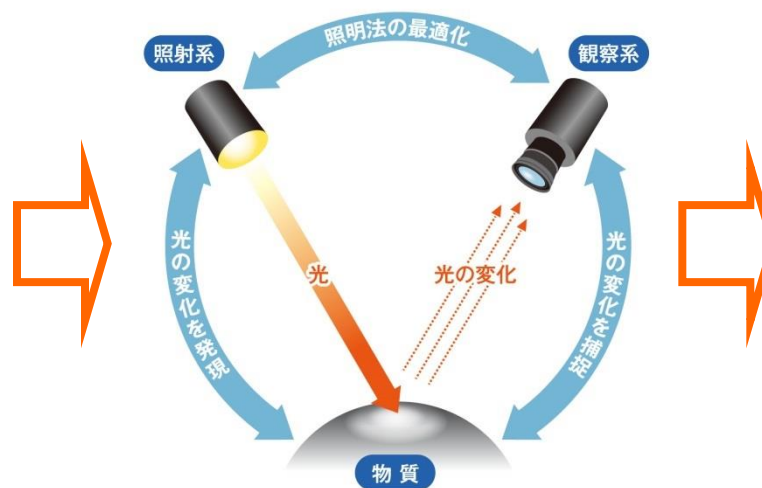
ライティングソリューション

<照明法の最適化>



※ 流通している硬貨。

実際に検査しているものではありません。



伝搬方向を最適化
見えなかった、
500円の文字を抽出。

同じ対象物でも見え方が全く異なります。

この照明の使い方により検査精度を高める技術を

「ライティングソリューション」 といいます

CCSの 事業内容

新規事業

LED検査用照明事業

LED検査用照明

(エリア照明・ラインセンサ用照明)



UVビジネス

美術館・博物館 ビジネス



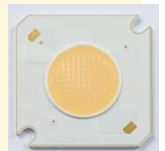
メディカルビジネス



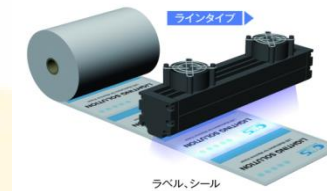
アグリバイオ ビジネス



デバイスビジネス

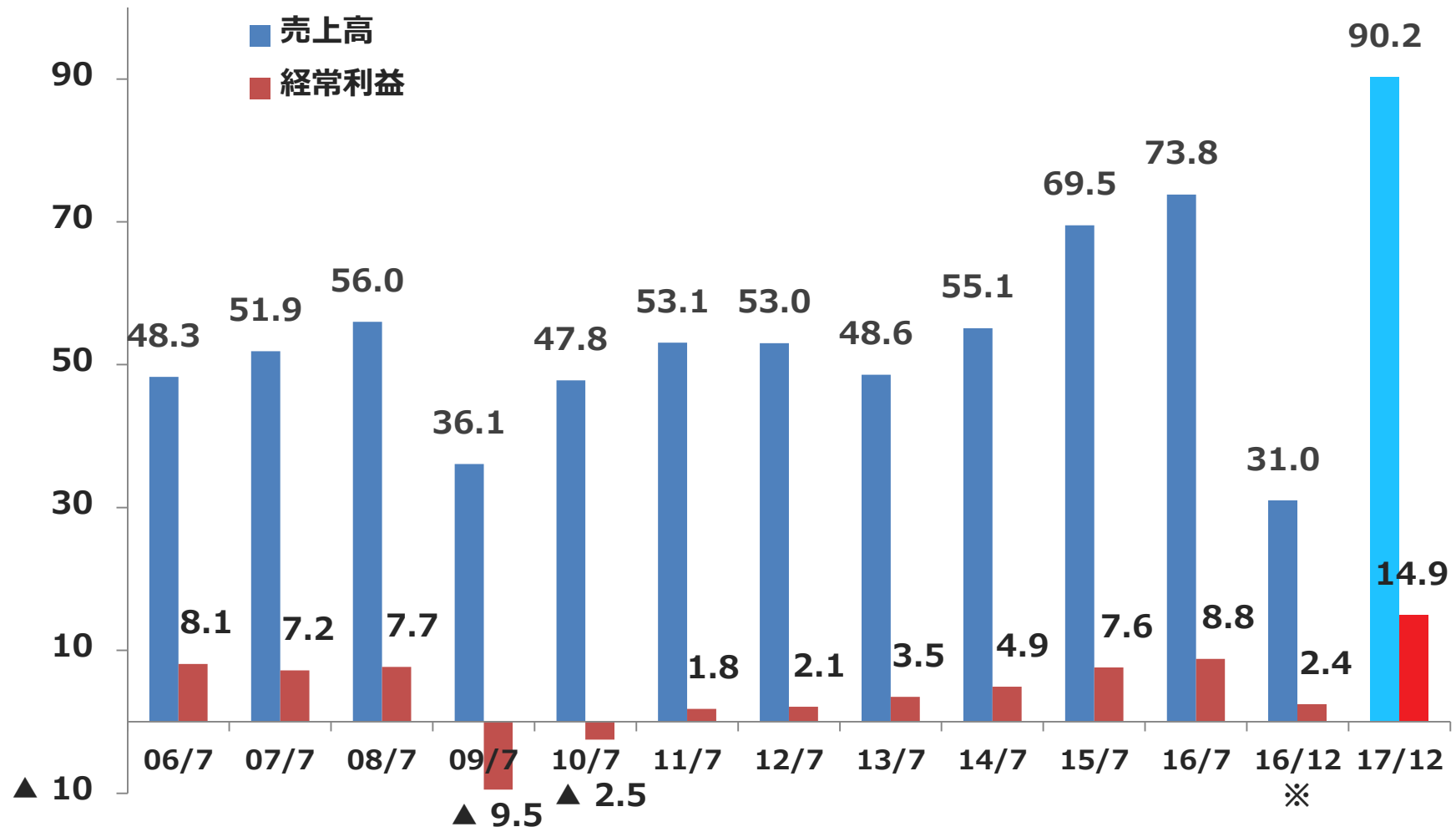


■ UVインクの硬化



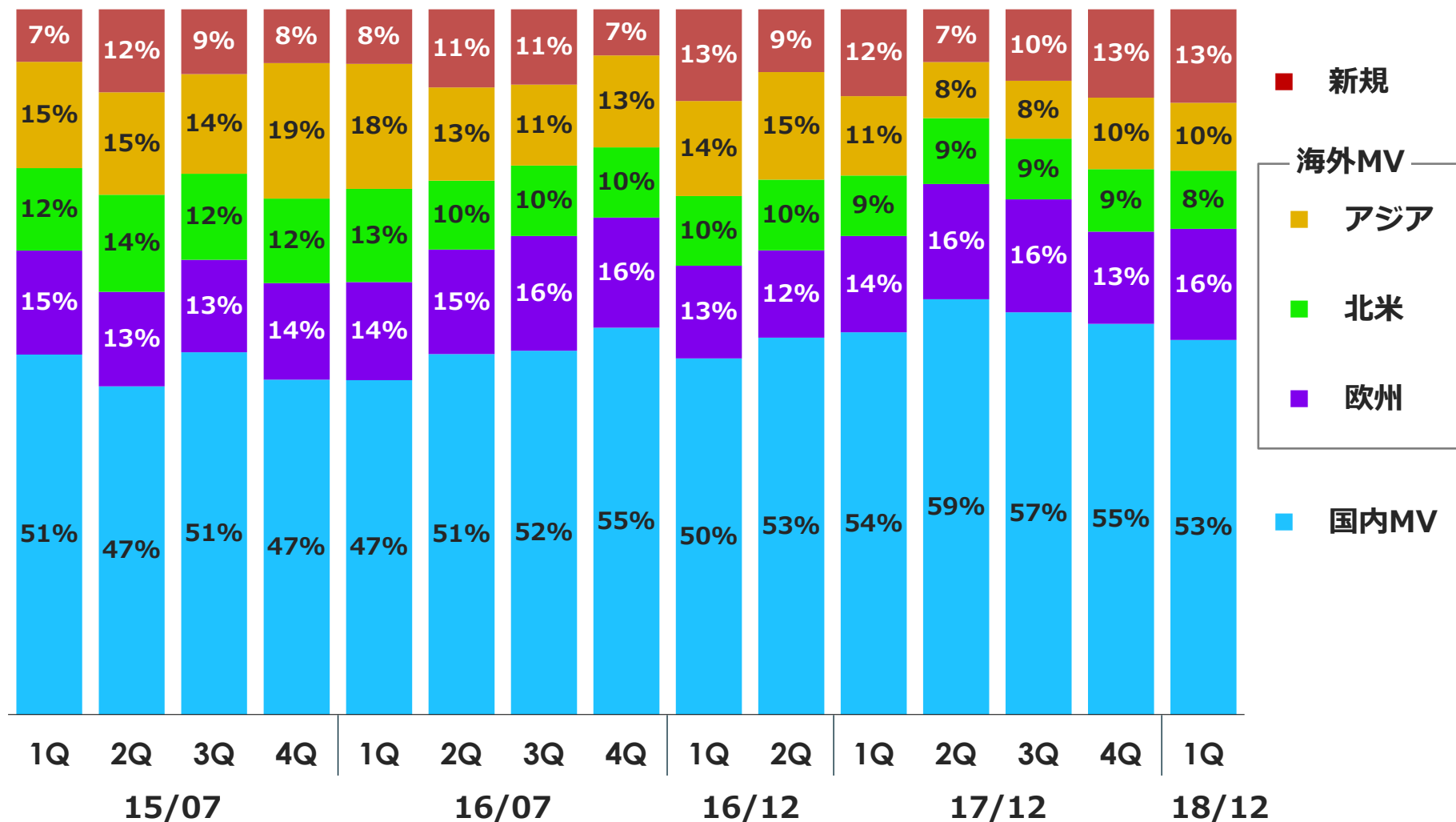
売上高と経常利益の推移

(単位：億円) **2017年12月期 過去最高益を大幅に更新**



※ 決算期の変更に伴い、2016年12月期は5ヶ月（8月～12月）の変則決算

売上高構成比



※ 決算期の変更に伴い、2016年12月期は5ヶ月（8月～12月）の変則決算

設備投資・減価償却・研究開発費の推移

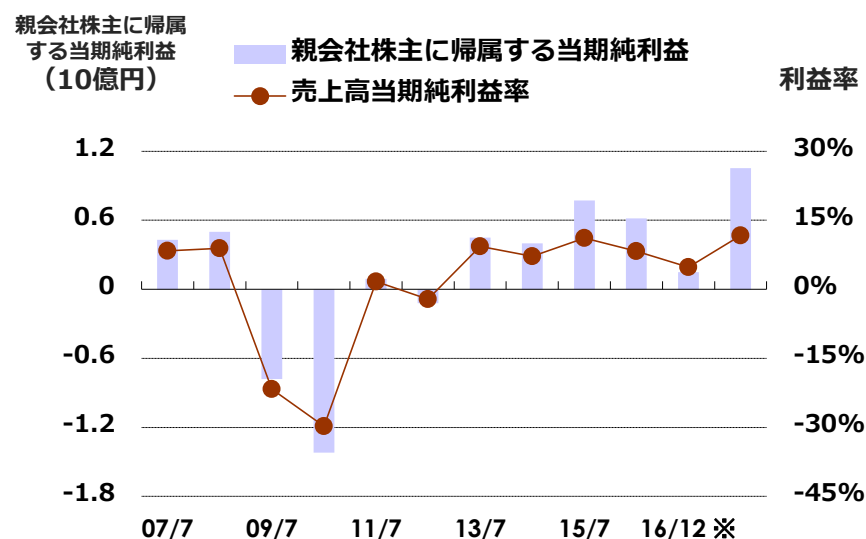
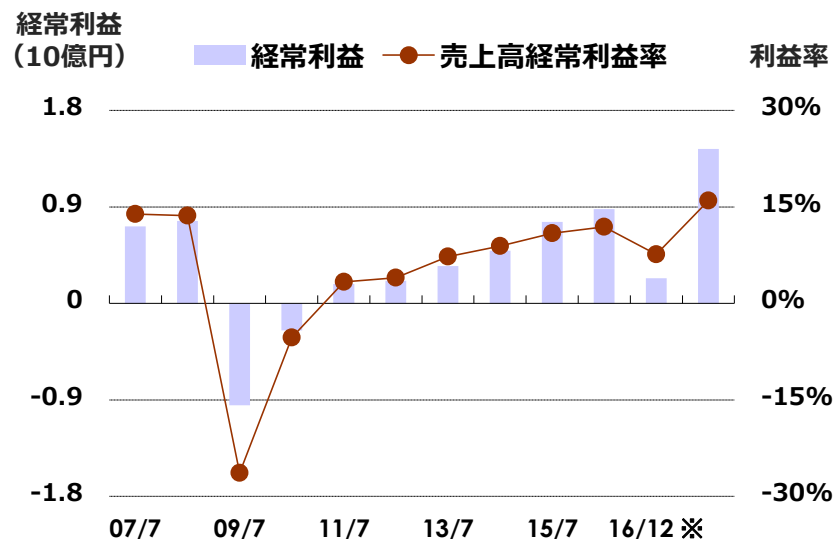
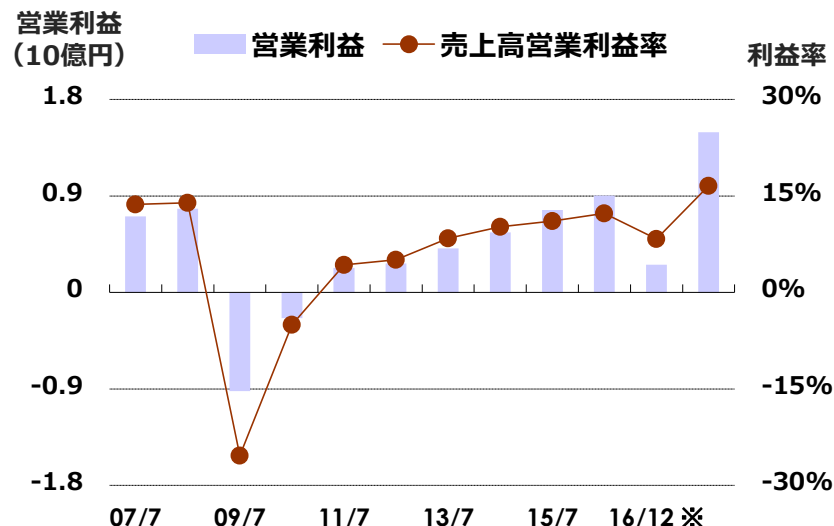
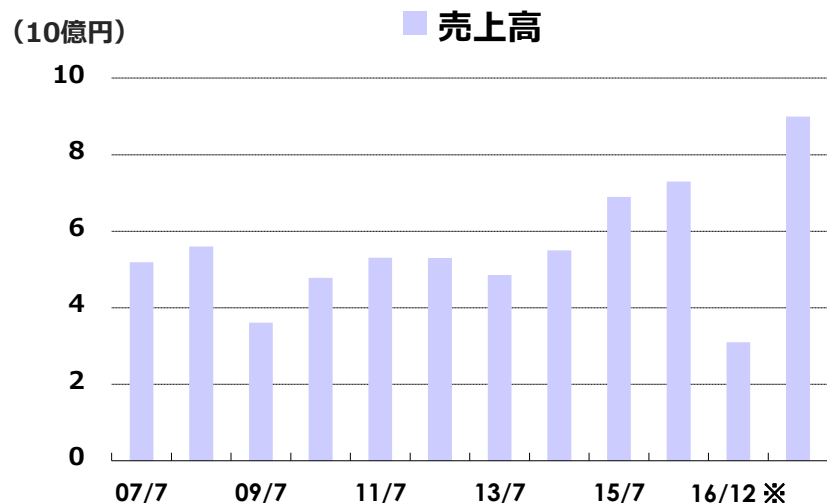
(単位：百万円)

	15/07 通期実績	16/07 通期実績	16/12 ※ 通期実績	17/12 通期実績	18/12 1 Q実績
設備投資	153	183	117	420	38
有形固定資産	108	145	111	349	23
無形固定資産	44	38	6	71	15
減価償却	164	158	65	203	49

	15/07 通期実績	16/07 通期実績	16/12 ※ 通期実績	17/12 通期実績	18/12 1 Q実績
研究開発費	486	545	243	680	167
対売上高比率	7.0%	7.4%	7.9%	7.5%	6.6%

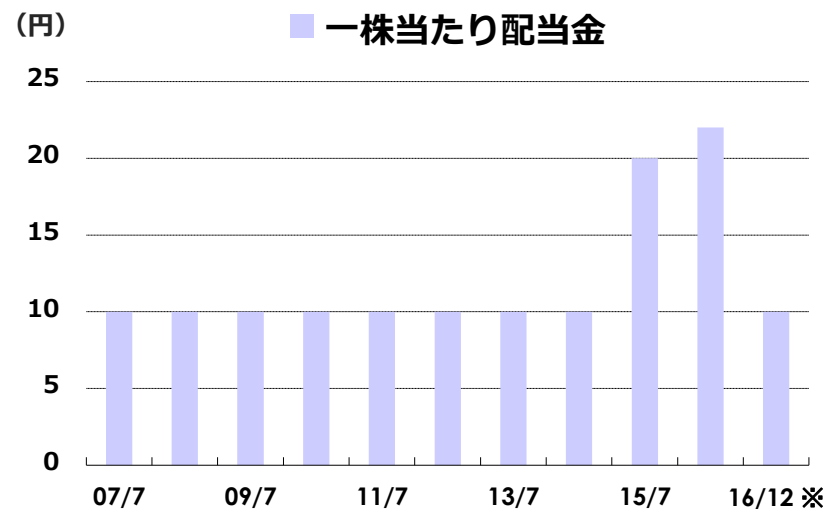
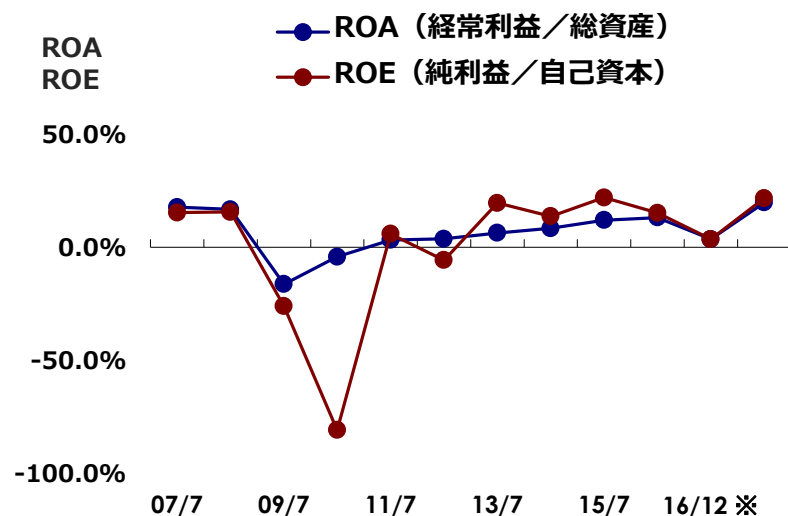
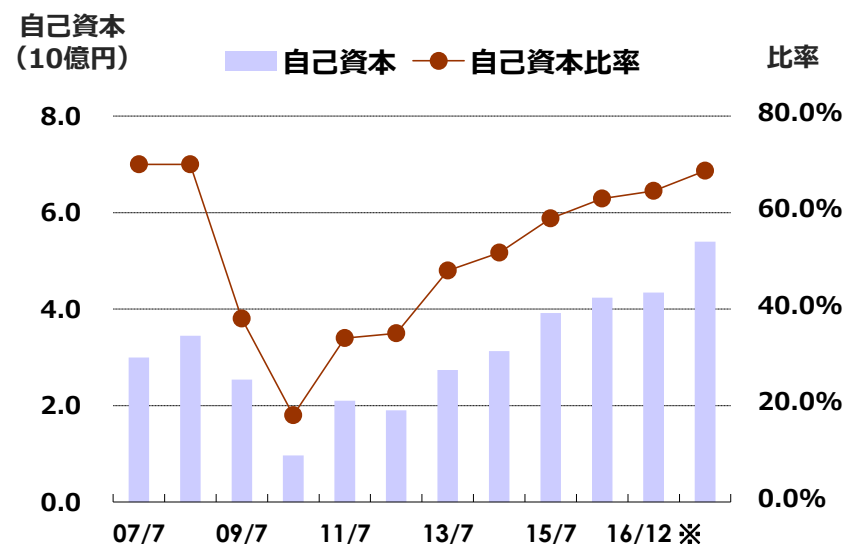
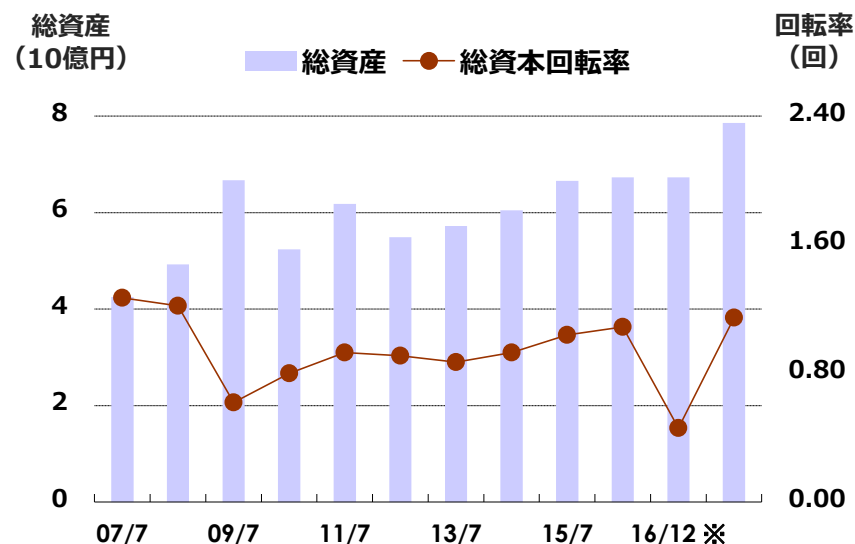
※ 決算期の変更に伴い、2016年12月期は5ヶ月（8月～12月）の変則決算

業績・財務指標の推移①



※ 決算期の変更に伴い、2016年12月期は5ヶ月（8月～12月）の変則決算

業績・財務指標の推移②



※ 決算期の変更に伴い、2016年12月期は5ヶ月（8月～12月）の変則決算

本資料取扱い上のご注意

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料に記載されている計画、見通し、戦略につきましては、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、様々な不確定要素が内在しています。実際の業績は経営環境の変化等により、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問合せ

シーシーエス株式会社 IR担当

TEL : 075-415-8291

FAX : 075-415-7724

E-mail : ir@ccs-inc.co.jp